

## 研究協力のお願ひ

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたくうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願ひ致します。

大阪医科薬科大学病院 呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科

### 記

<b>研究の名称</b>	肺腺癌における TTF-1 発現とプラチナ製剤+ペメトレキセド+ペンブロリズマブ療法の治療効果に関する後方視的研究
<b>対象</b>	2019 年 1 月 1 日から 2022 年 4 月 30 日までの期間に肺腺癌においてプラチナ製剤+ペメトレキセド+ペンブロリズマブ療法を施行された患者さんの中で、腫瘍細胞の TTF-1 免疫染色が施行された方の治療経過について後方視的に調査します。本学において約 30 例を予定しています。
<b>研究期間</b>	研究実施許可日 ～ 2025 年 11 月 30 日
<b>試料・情報の利用 目的及び利用方法</b>	<p>利用目的：TTF-1 は腫瘍細胞が肺腺癌であることを証明するための免疫染色（細胞を薬品で染めて診断する）の一つですが、TTF-1 陽性・陰性両方の腺癌の方がおられ、TTF-1 陽性の方ではペメトレキセドを含む化学療法の有効性が高いと報告されています。しかし近年進行肺腺癌の治療として頻用されている免疫チェックポイント阻害剤を加えたプラチナ製剤+ペメトレキセド+ペンブロリズマブ（PD-1 抗体）療法では TTF-1 の免疫染色の結果により効果が異なるのかが不明です。TTF-1 の免疫染色が行われた患者さんでの同治療の有効性が TTF-1 陽性・陰性によって違いが出るかどうかを検証するため、患者さんの診療情報を電子カルテより抽出します。</p> <p>利用方法：患者さんの診療情報を抽出し解析を行います。抽出した診療情報は、</p>

	加工して個人を特定できないように対処したうえで取り扱います。研究結果は学会や学術誌で発表される予定です。
<b>利用し、又は提供する試料・情報の項目</b>	試料：用いる予定はありません。 情報：検査データ、診療記録等
<b>研究者名</b> <b>【研究責任（代表）者】</b> 大阪医科薬科大学 呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科 医長 田村 洋輔	
<b>参加拒否の申し出について</b> <p>ご自身の診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。</p> <p>参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。</p>	
<b>&lt;問い合わせ窓口&gt;</b> <b>【研究機関】</b> 〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号 大阪医科薬科大学病院 呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科 担当者 田村 洋輔 連絡先 072-683-1221（代） 内線 56857	

# 研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿  
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学病院  
研究責任者 田村 洋輔 殿

研究の名称	肺腺癌における TTF-1 発現とプラチナ製剤+ペメトレキセド+ペンブロ リズマブ療法の治療効果に関する後方視的研究
-------	---

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者

住所

氏名（自署）

※ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）